

授業科目 助産学実習 I

【担当教員名】 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、 山口 典子、浅島 宏美		対象学年 4	対象学科 看護	看護	
		開講時期 前期	必修選択 必修選択	選択	
		単位数 1	時間数 45	45	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 妊産褥婦、新生児およびその家族に対して、助産の基礎知識、技術、態度を統合して活用し、助産過程を展開することによって助産に必要な基礎的能力を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 助産過程を用いて必要な看護を考察し、実践する。 2 継続受け持ちケースの妊婦健康診ならびに保健指導を実践する。 3 産褥期および新生児期（退院後も含む）の保健指導を実践する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1～	実習施設において妊娠期から産褥期にある女性を継続して受け持ち、看護を実践する。 継続受け持ちケースの妊婦健康診査と保健指導 継続受け持ちケースの産褥期・新生児期の保健指導		1、2、3 1、2 1、3	担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
		助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
		助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
参考書		助産学講座5 助産診断・技術学 I	堀内成子	医学書院	2013・3,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 看護実践内容（保健指導評価表）50%程度 実習記録（助産過程評価表）50%程度		【履修上の留意点】			